

心肺運動負荷試験（CPX）の同意書

社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院

心肺運動負荷試験（CPX）は、心電図・血圧・呼吸状態（呼気ガス分析を行うためマスク装着）を測定しながら自転車エルゴメータを漕ぐあるいはトレッドミルの上を歩いたり走ったりしていただきます。運動強度を徐々に増加させて、危険な兆候がなければ息切れや下肢疲労が限界に近くなるまで運動を続けて頂きます。最高酸素摂取量をはじめとした呼気ガス分析は、種々の心疾患の重症度・予後の判定、治療方針の決定にとって極めて重要な情報です。また心臓リハビリでも、最適なトレーニング強度の決定やリハビリ効果を知る上で不可欠な検査であり、同時に狭心症や不整脈の診断にも有用です。安全のために運動中の心電図・血圧の変化などを常に監視しながら行いますが、心臓などに異常が出るかどうかを判定することも重要な目的ですので、検査の必要性とともに以下に記載された内容をご理解願います。

なお、開始時間の 15 分前までに総合受付にお越しください。

検査手順

- ① 運動前にマスクを装着し、安静時の心電図や血圧を測定します。
- ② ごく軽い運動強度から負荷を開始し、徐々に運動強度を増加させます。
- ③ 原則として、息切れ・下肢疲労などの症状が限界近くまで運動して頂きますが、検査担当者の判断で運動を終了することがあります。胸痛やめまいなど、何か問題となる症状が生じた場合は手を挙げるなどの合図でお知らせ下さい。
- ④ 運動終了後も数分間は心電図・血圧・呼吸状態をモニターし、安定したら検査は終了です。

検査に伴って患者さんに起こりうる不具合は稀ではありますが、運動負荷検査に伴い合併症が生じることがあります。具体的には、血圧低下・動悸・気分不良・めまい・失神などです。運動により急性心筋梗塞や重篤な不整脈が生じる可能性もあります。その際には緊急処置を行い、必要に応じて急性期病院への転送が必要になる場合もありますが、その頻度は極めて稀です。

なお、検査中、なんらかの理由で運動中止を希望されれば、いつでも中止できます。

留意事項

1. 食事と服薬は、検査の 2 時間以上前に済ませておいて下さい。空腹でも満腹でも正当な結果は出ません。また、内服薬は必ず飲んできてください。
2. 検査時間は約 40 分ですが、実際の運動は 15 分程度です。必ずトイレを済ませておいて下さい。
3. 当日、胸が苦しい・足や腰が痛いなど体調に問題がある方は必ず検査担当者にお申し出下さい。
4. 検査後数時間以内に体調に問題が出現した場合は当院に連絡して下さい。
5. あらゆる検査結果は統計・学術目的に限って使用されることがあります。個人情報には十分注意いたしますのでご協力よろしくお願ひします。

この度、私が心肺運動負荷試験を受けるにあたり、以上の説明を受け内容を理解しましたので実施に同意します。実施中に緊急または予想外の処置が必要を生じた場合には、適宜治療処置されることについても同意します。

____年 ____月 ____日

説明者の署名

本人の署名